

# 普及センターだより

# 耕耳苑

宮古農業改良普及センター

TEL：0193-64-2220

FAX：0193-64-5631

岩泉普及サブセンター

TEL：0194-22-3115

FAX：0194-22-2806

いわてアグリベンチャーネット

<https://i-agri.net/>

## 台風対策

台風が発生するシーズンとなりました。これから秋にかけて台風が接近することも予想されますので、日頃から、対策を意識しておきましょう。

台風が接近している最中は、**人命第一の観点**から、圃場の見回りは、気象情報を十分に確認し、**大雨や強風が治まるまでは行わない**でください。

大雨等が治まった後の見回りにおいても、増水した水路、その他の危険な場所には近づかず、足下等、圃場周辺の**安全に十分に注意**して、**転落、滑落事故に遭わない**よう慎重に行ってください。

### 事前の対策

水稲	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水路等にゴミなどが詰まっていると浸水や冠水しやすくなるので、土地改良区等と連携して除去</li> <li>浸水や冠水が予想される水田では、予め水尻を解放し排水を促進</li> </ul>
杣・畑作物	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲溝や排水溝などを点検・補修し速やかに排水</li> <li>圃場やハウスへの水の進入を防止するため、周囲にあらかじめ排水溝を設置。いつも水が溢れる場所は土嚢等で補強</li> </ul>
野菜・花き等	<ul style="list-style-type: none"> <li>明きよ等の設置</li> <li>防風ネットを設置している場合は、緩んでいるワイヤーや針金を張り直し、ネットの破れを補修</li> <li>ハウスは、ハウスバンドの切れや緩みを点検。ビニールの破損は補修し、筋かいなどの補強を実施</li> <li>ハウスでは、循環扇等で空気を攪拌し、湿度上昇による病害発生を予防</li> <li>露地圃場では、畦の両端の支柱を補強し、支柱や株の倒伏を防止</li> </ul>
りんご等果樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>収穫が近い品種は、果実品質と散布した農薬の収穫前日数等を確認し、収穫が可能なものは、農作業安全に注意しながら、速やかに収穫</li> <li>防風ネットは、ネットの張りを点検し、緩んでいるワイヤーの張り直し、破れたネットを張替</li> <li>わい性樹は倒伏しやすいので、主幹を支柱に2～3ヵ所結束。長大な側枝を持つ樹形はバランスを崩しやすいので、丈夫な支柱で固定</li> <li>高接ぎでは大切な更新枝を保護するよう添え木。幼木も丈夫な支柱で固定</li> <li>排水溝を切り、降雨による表面水の排水を促進</li> </ul>
畜産	<ul style="list-style-type: none"> <li>飼料作物圃場では、排水溝の点検を実施。特にとうもろこしは湿害に弱いので、排水対策を徹底</li> <li>停電により、搾乳ができない場合を想定して、発電機の準備や使用方法を確認。可能であれば貯水タンクに水を確保</li> <li>畜舎周辺を点検し、畜舎内に雨水が入らないよう排水溝の点検を行うとともに、必要であれば修繕や補強を実施</li> </ul>

## 事後の対策

- (1) 浸水、冠水した場合は速やかに排水し、長時間滞水しないように留意
- (2) 台風通過後は、茎葉の損傷等により病気にかかりやすくなっているため、品目ごとの農薬の使用基準に従い殺菌剤を散布し、病害の発生を防止  
茎葉に泥土等が付着した場合は、動力噴霧機により水をかけて洗い流した後、殺菌剤を散布
- (3) 株が倒伏、傾倒した場合は、風が弱まったら直ちに株を立て起こし、支柱で固定。併せて、適宜ネットを修復

## 牧草夏枯れ対策の実証

牧草の夏枯れとは、極端な刈りや刈取り回数を多くすることで、高温や干ばつによる高温障害や葉腐病等が発生し、牧草の生育停滞や生育不良あるいは枯死してしまうことを言い、それに伴い収量の低下を招きます。

近年、岩手県においても夏季の高温による影響で牧草の夏枯れが認められていることから、今年度から、盛岡、一関、宮古（岩泉）及び久慈の各普及センターで草種や刈り取り高さ（5 cm、10 cm）による影響を検証する試験圃を設置することになりました。

岩泉普及サブセンターでは、7月14日に大牛内育成牧場の採草地の一部に試験圃を設置し、夏季の高温が予想される2番草から調査を開始しました。

この調査は、来年の3番草まで草丈及び収量の調査を継続し、実証結果は今後の指導に活かされます。



試験圃設置に係る目合わせ



夏枯れの一因となる葉腐病の病斑

【担当：姉帯】

## 秋の農作業安全確認運動

9月1日（火）から10月31日（土）まで、「見直そう！農業機械作業の安全対策」を重点推進テーマに、秋の農作業安全確認運動が実施されます。農業機械の点検や修理を行い、農作業事故の防止に努めましょう。

◎残暑が続きます。こまめに水分をとり、熱中症に注意して作業しましょう。

◎日暮が早くなりますので、焦らず計画的に作業しましょう。 【担当：千田】